＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	ずっと大好き信州の家
グループの名称	信州の優良住宅を創るなかま
直近採択グループ番号	06-0318-0384

（グループ代表者）

代表者名	穂苅　淳　　代表者印
代表者所属先	株式会社林友
代表者所在地	長野県松本市渚４－１－１
代表者電話番号	0263-29-1232

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社林友
事務局担当者名	細野　宏喜　　印
事務局郵便番号	390-0841
事務局所在地	長野県松本市渚4-1-1
事務局電話番号	0263-25-0171
事務局FAX	0263-25-8772
事務局担当者E-mail	hosono@rinyuwood.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	ずっと大好き信州の家
２．グループの名称(必須)	信州の優良住宅を創るなかま
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0318-0384
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県内
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	穂苅　淳
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社林友
８．グループ代表者所在地(必須)	長野県松本市渚４－１－１
９．グループ代表者電話番号(必須)	0263-29-1232
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社林友
１１．グループ事務局担当者名(必須)	細野　宏喜
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	390-0841
１３．グループ事務局所在地(必須)	長野県松本市渚4-1-1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0263-25-0171
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0263-25-8772
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	hosono@rinyuwood.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	原木供給事業者が海外事業者であるため
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	3	製材・集成材製造・合板製造者が海外事業者であるため
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	4	
Ⅴ．設計	10	
Ⅵ．施工	17	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		11	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	採択された戸数の結果を踏まえ、補助対象が確実な物件を優先する。分配戸数が申請戸数より少ない場合は抽選による。不都合が出る場合は、事務局、構成員施工店で話し合いを行い決議する。□

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給事業者が海外事業者であるため

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
8	Ⅰ － 32	有限会社タカノ		319-3366	茨城県久慈郡大子町大沢686	0295-74-0016
8	Ⅰ － 33	株式会社ヨシナリ林業		319-3361	茨城県久慈郡大子町頃藤頃藤3498-1	0295-74-1397
21	Ⅰ － 34	岐阜県森林組合連合会		500-8356	岐阜県岐阜市六条江東2-5-6	058-275-4890
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
製材・集成材製造・合板製造者が海外事業者であるため

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 35	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
8	Ⅱ － 36	宮の郷木材事業協同組合		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-25	0294-70-3901
21	Ⅱ － 37	長良川木材事業協同組合		501-5123	岐阜県郡上市白鳥町中津屋1385番1	0575-83-0318
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
13	Ⅲ － 1	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1-7-22	03-5534-3711
20	Ⅲ － 2	林友ハウス工業株式会社		399-8303	長野県安曇野市穂高8421	0263-82-3388
20	Ⅲ － 3	株式会社 林友		390-0841	長野県松本市渚４丁目１番地１	0263-29-1232
34	Ⅲ － 35	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
20	Ⅳ － 3	株式会社 林友		390-0841	長野県松本市渚４丁目１番地１	0263-29-1232
22	Ⅳ － 5	ボラテック富士株式会社		417-0801	静岡県富士市大淵字元篤3800-7	0545-37-1192
23	Ⅳ － 38	中国木材株式会社 名古屋プレカット		498-0066	愛知県弥富市楠3-33	0567-68-6131
22	Ⅳ － 39	中国木材株式会社 東海プレカット		421-0213	静岡県焼津市飯淵2027	054-622-7642
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
13	Ｖ － 1	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1-7-22	03-5534-3711	○	
20	Ｖ － 6	江建築設計事務所		390-0822	長野県松本市神田3-11-12	0263-55-3975	○	
20	Ｖ － 7	林友1級建築設計事務所		390-0814	長野県松本市本庄1-17-13	0263-50-7877	○	
20	Ｖ － 8	株式会社アスピア1級建築設計事務所		390-8639	長野県松本市宮渕1丁目3-30	0263-32-8855	○	
20	Ｖ － 9	株式会社E－デザイン1級建築設計事務所		391-0001	長野県茅野市ちの２６６５－１	0266-73-7235	○	
20	Ｖ － 10	山共建設株式会社1級建築士事務所		399-8102	長野県安曇野市三郷温3350	0263-77-3161	○	
20	Ｖ － 11	東建築設計＆Const1級建築士事務所		390-1243	長野県松本市神林1918-3	0263-87-5919	○	
20	Ｖ － 12	ストレリチア		390-1701	長野県松本市梓川倭284-19	0263-31-3421	○	
20	Ｖ － 13	鍋林建工1級建築士事務所		390-0851	長野県松本市島内3501-1	0263-48-3501	○	
20	Ｖ － 31	創成工業株式会社2級建築士事務所		399-0711	長野県塩尻市大字片丘字今泉９８２８－７	0263-52-3185	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							17	○	○
20	Ⅵ － 3	73926	株式会社 林友		390-0841	長野県松本市渚4丁目1番地1	0263-29-1232	○	
20	Ⅵ － 14	74189	鍋林建工株式会社		390-0851	長野県松本市大字島内3501－1	0263-48-3501	○	
20	Ⅵ － 15		有限会社新谷建設		399-8204	長野県安曇野市豊科高家1071-31	0263-72-6461	○	
20	Ⅵ － 17		株式会社岡村工務店		399-8303	長野県安曇野市穂高5330-1	0263-82-2541	○	
20	Ⅵ － 18	73877	マルセイ住宅有限会社		390-1241	長野県松本市新村2064番地	0263-47-2357	○	
20	Ⅵ － 19	73898	株式会社 シャーロック・ホームズ		390-0821	長野県松本市筑摩一丁目16番23号	0263-27-4658	○	
20	Ⅵ － 20	73899	株式会社 スペースウェアハウス		399-0015	長野県松本市平田西1－2－16	0263-29-1890	○	
20	Ⅵ － 21	74216	有限会社 下平工務店		399-0735	長野県塩尻市大門二番町6-11	0263-52-0483	○	
20	Ⅵ － 22	74112	山共建設株式会社		399-8102	長野県安曇野市三郷温3350	0263-77-3161	○	
20	Ⅵ － 23	74055	株式会社芳澤建設		391-0108	長野県諏訪郡原村14603	0266-78-6201	○	
20	Ⅵ － 24	73864	ココチエ建築設計 株式会社		399-8102	長野県安曇野市三郷温4614番地1	0263-87-5648	○	
20	Ⅵ － 25	74185	東建築設計株式会社		390-0833	長野県松本市双葉13-15	0263-87-5919	○	
20	Ⅵ － 26	73931	株式会社E－デザイン		391-0001	長野県茅野市ちの2665－1	0266-73-7235	○	
20	Ⅵ － 27	73868	たかの建築		399-0021	長野県松本市寿豊丘457-2	0263-55-3033	○	
20	Ⅵ － 28	73945	株式会社アスピア		390-8639	長野県松本市宮渕1－3－30	0263-32-8855	○	
20	Ⅵ － 29	73872	ノアホーム		399-0102	長野県諏訪郡富士見町落合3060－38	0266-61-8051	○	
20	Ⅵ － 30	74151	創成工業株式会社		399-0711	長野県塩尻市大字片丘字今泉9828－7	0263-52-3185	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
20	Ⅵ － 3	73926	株式会社 林友	3 戸	11 戸	0 戸	0 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
20	Ⅵ － 14	74189	鍋林建工株式会社	1 戸	4 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 15		有限会社新谷建設	2 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 17		株式会社岡村工務店	3 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	2 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
20	Ⅵ － 18	73877	マルセイ住宅有限会社	0 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 19	73898	株式会社 シャーロック・ホームズ	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	4以上		○	○
20	Ⅵ － 20	73899	株式会社 スペースウェアハウス	7 戸	13 戸	1 戸	2 戸	2 戸	4 戸	1 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 21	74216	有限会社 下平工務店	3 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 22	74112	山共建設株式会社	4 戸	15 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 23	74055	株式会社芳澤建設	1 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
20	Ⅵ － 24	73864	ココチエ建築設計 株式会社	10 戸	20 戸	7 戸	12 戸	0 戸	0 戸	1 戸	3 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	○
20	Ⅵ － 25	74185	東建築設計株式会社	8 戸	18 戸	1 戸	1 戸	1 戸	2 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
20	Ⅵ － 26	73931	株式会社E－デザイン	3 戸	16 戸	1 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 27	73868	たかの建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 28	73945	株式会社アスピア	3 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
20	Ⅵ － 29	73872	ノアホーム	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 30	74151	創成工業株式会社	2 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 4	ハウスプラス住宅保証株式会社		108-0014	東京都港区芝5丁目33番7号徳栄ビル本館4階	03-5962-3800
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ずっと大好き信州の家	（地域型住宅供給対象地域）長野県内
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）信州の優良住宅を創るなかま	（結成年）2016 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0318-0384	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	2020年ゼロエネ住宅標準化に向かい省エネ性能（断熱性能等級4以上）は勿論、耐震化（耐震等級2以上)も高度省エネ住宅に推奨する。必要に応じて構造計算を行う。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	長野県は、南北に長く複雑な地形により、各地域の気候特性が多様なため、それぞれの地域に対応した設計を行っていく。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	長野県の各地域の景観を考慮した建物を積極的に設計していく。 各地域の気候特性を考慮したうえで、自然エネルギー設備の導入を行っていく。 たとえば、建物の開口部からの通風・採光計画に配慮、太陽光発電システムの設置等	◎
④ ①～③の背景	過疎化、高齢者社会に向けてコミニティーのある地域づくりを目指す。高齢者はもちろん子育て世代のIターン、Uターンのユーザーが住みやすい地域をPRし、地場建築業者として地域にあった住宅の提案プランを工務店ごと設計する。また、国内有数の活断層もある当地域に対する対策として耐震構造が必要である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	全国トップクラスの日射条件の良い当地域では高度省エネ型住宅の場合、4KW前後の太陽光発電システムの設置を推進し低炭素住宅実現に邁進する。また、長野県条例にある建築物自然エネルギー条例が掲げる事業の方針にも参画する。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 優良建築物の構造として相応しい用材を適材適所に使用し規格整備する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 使用する建材は事務局が中心となり、主要建材を選定し施工事業者へ納品する事で使用材料の統一化を図る。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: グループ内の事業者の製品を採用することにより仕様の標準化に努める。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: あらかじめ使用量の多い建材については メーカー、商社、問屋より価格・納期短縮の協力を仰ぎ資材の安定供給を実施する。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: グループ構成員に対し、使用する建築資材の安定供給とコスト削減及び物流等、チェックリストを利用し合理化を目指す。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 仕様部材について統一化又は絞り込みできるかを検討する。流通・設計・施工などを交えたワーキンググループを作り、その中で意見交換を実施する。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容: 資材の安定供給は基より、品質確保、価格交渉、一定の商品の統一化を計り価格面での合理化を目指す。「長寿命型」「高度省エネ型」などで勉強会なども企画し、それらの住宅着工数をグループ内で増加させることが出来るよう取り組む。各構成員の積極的な参加も促していく。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容: 長期優良住宅や低炭素住宅などのマニュアル等を用いて、技術基準の平準化を目指すとともに更に分かり易い施工マニュアルを作成し構成員と共有する。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容: 施工部位ごとに検査方式をまとめ文書化・図面化する。実施確認チェックリストを作成し、事務局が管理する。要望によっては第三者機関等、外部による現場検査を行う。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容: グループ参加工務店の理解しやすい見積作成、積算方法マニュアル化の整備に努める。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容: 管理の必要性を理解して貰う為に維持管理表を作成し、引き渡し時に説明して保管頂く。 建築途中の見学会を行い写真撮影をし事務局が管理するなどして現場の「見える化」をすすめていく。 グループとしてのホームページやチラシを作成し、啓蒙活動に努める。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容: 月に一度は週休二日制を取り入れるようにし、若い職人の仕事の活性化を図れるように推奨する。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容: 若い世代が責任をもって取り組める環境づくりや、教育・研修の場を設け魅力ある職種として環境を整備する。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容: 社会保険への加入を義務化し、事務局でも加入の有無を把握できるようにする。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容: ヘルメット・安全帯の着用を義務化、また朝礼前に体調チェックをし、定期健康診断の受診の徹底を推奨する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	新商品説明会・商品勉強会などを実施し、供給側としての提案知識を高めていく。 使用部材については、なるべくワーキンググループなどで検討されたものを優先として考える。				○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ずっと大好き信州の家	（地域型住宅供給対象地域）長野県内
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）信州の優良住宅を創るなかま	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0318-0384	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報蓄積サービスを運営する第三者機関を推奨し指定期間の点検の実施を行う。住宅履歴情報蓄積サービスの登録をしたら必ず事務局へ報告をする。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：第三者機関を活用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局が定期的に確認する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：メンテナンスが必要な時期と期間を決めて実施。グループ内でメンテナンス事例の共有化を図りリフォーム基準の技術向上とメンテナンスの効率化を第三者機関等も利用しながら進める。記録した内容（データ・写真など）を共有化（個人情報除く）していく。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：補修の記録、写真等をグループ内で共有化する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局にて確認する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：第三者機関の協力を得て勉強会を開催する。（年１回）	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の現場見学会の実施（構造・中間・完成）や地域イベントへ積極的に参加し、相談会やセミナー・木工教室等でお客様との懇親を深め地域密着を目指す。その際、お客様に対して制度の説明を行う。引き渡し時に「DIYポイント集」等を施主様に渡す。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ内で検討する。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：第三者機関を利用し維持管理検討委員会を設置し事務局と連携して行う。検討委員会を中心とし、よりよいルール・仕組みを継続して検討していく。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：第三者機関の協力を得て維持管理手法を検討する。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の構成員が倒産廃業した場合に備え、第三者機関の完成保証の積極的な導入を促す。グループ内で施工業者を斡旋できるように維持保全計画を作成する。グループ内の構成員がスムーズに引き継げるように事務局がまとめ、業者引き継ぎの際は、施主との事前面談を行う。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：事務局が中心となり瑕疵の過去例等の情報を収集し蓄積。瑕疵保険の加入物件で瑕疵が発生した際などには、原因などをグループ内で議論・共有し再発を防ぐ。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			地域性にあったメンテナンスをグループ内で情報共有をする。リフォーム相談に活用できる履歴情報を蓄積し管理・発信できるようにする。採用している履歴管理制度が無ければ、出来るだけ制度を統一化する。メンテナンスについて「住宅設備延長保証サービス」なども行う。　瑕疵保険加入義務付け（任意保険含める）は勿論、事務局は各構成員が加入している瑕疵保険を把握する。「延長保証」なども検討し、よりよいサービスの提供に努める。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：勉強会、セミナー等を開催して知識・技術を高めるようにする。座学だけではなく「現場での講習」も取り入れ、技術普及・ボトムアップに取り組む。 構成員の協力を得て、主に設計・施工グループ向けの勉強会を実施する。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：チェックシート等を用い現場検査を行う。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局は適切に実施しているか随時確認する。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：勉強会、セミナー等を定期的に企画開催し受注ができる体制を作る。受注だけではなく、「長期優良住宅」「低炭素住宅」等、高性能な住宅を容易に提案できるように努力する。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：若手施工業者が習得すべき技術情報を随時発信する。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：事務局が中心となりグループ内での情報交換の場を設ける。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　39		今年度の参加目標人数　5	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：講習会への早めの日程・場所のご案内をして参加を促す。事務局が受講確認を行い、設計・施工グループ内での早期全員受講を目指す。 合格番号について、事務局で控える。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：省エネルギー、耐震性能両面での最先端の商品、施工技術導入に向けた研修会を行う。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の施工業者、お施主様の協力により最先端技術の導入、新商品の住宅を建設しその情報をグループ内で共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			信州に合ったゼロエネ住宅の実現に向けグループ全員の意識を高められるように協力し合う。 未経験工務店の参加を促し、高性能住宅の普及につとめる。			○

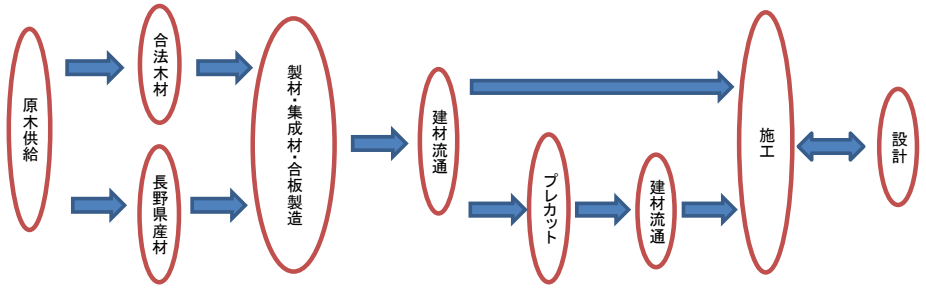
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ずっと大好き信州の家	（地域型住宅供給対象地域）長野県内
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）信州の優良住宅を創るなかま	（結成年）2016 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0318-0384	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	土台：信州認証木材又は合法木材（国内・国外）・桧・米松・米栂・米ヒバ 柱　：信州認証木材又は合法木材（国内・国外）・桧・杉・欧州赤松・スプルース 桁梁：信州認証木材又は合法木材（国内・国外）・桧・杉・米松・欧州赤松・スプルース 枠組壁工法：合法木材・SPF・米松・米栂・米ヒバ・欧州赤松	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：■ 使用していない　□ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：事務局が中心となり製材業者・流通・プレカット工場より在庫状況の情報・相場情報を会員に伝える。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：原木業者、製材業者から情報を得て構成員に発信する	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：グループ全体で10棟目標にて100m³を予定する。※1棟　10㎥として10棟	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：長野県産材の桧・杉・唐松・地松を構造材・内装材に使用することを提案していく。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：県内各地域の卓越された意匠的文化を研究活用する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：軒の出をなるべく大きく出し、夏場の直射日光をさける造りを検討する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：完成見学会の実施。また会員メンバーとの勉強会等開催する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：各自治体の景観条例に基づく。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：設計段階で生活空間にあわせた和のデザイン採用を提案していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		長野県産材を外壁材・内装材の使用を積極的に提案する。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地の製品使用を推奨する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災地の製品使用を推奨する。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ずっと大好き信州の家	（地域型住宅供給対象地域）長野県内
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）信州の優良住宅を創るなかま	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0318-0384	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

《住宅の特徴》
地球温暖化対策、低炭素社会の実現に向け、信州地区のモデル的住宅の建築を目指す。条例に則った提案を行い、出来るだけ自然エネルギー導入を促す。

《本事業目標》
長期優良住宅やその他の案件についても一次エネルギー計算を行う。
BELS取得を必須にはしないが、BELS取得の普及につとめる。

ゼロエネ住宅の特徴として、外皮4～6地域ではUA値0.6以下とし、3地域では0.5とする。また、ランクアップ外皮平均熱貫流率の基準をクリアするために、積極的に3地域・4地域ともにUA値0.4以下になるように提案していく。
太陽光発電を除くエネルギー削減率を高め創エネに極力頼らないゼロエネ住宅を目指す。一次エネルギー消費量は基準に対し20%以上削減する。

《その他》
既存住宅のリフォームについても高性能建材の導入を促すなど、省エネ・長寿命化する。また、長期優良化リフォームにも積極的に取り組むこととする。住宅ストックの質の向上を目指す。
また、ホームインスペクター（住宅診断士）の資格取得を推奨し、リフォーム基準を明確にし大型リフォーム案件に備える。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。